

政友会 今井 俊郎 議員



- ① シティーセールスについて
- ② 清掃センターでのゴミ管理について
- ③ 江島総合公園指定管理者選定について

質問① 特命大使の任命はどうなっているのか。

答弁① 「鈴鹿市出身者等リスト」としてまとめ上げ、大使を任命するにあたっての、趣旨、対象、業務、報酬等の運用を先月末に制定したところである。任命するに至った場合には事前に報告する。

質問② 持ち込みゴミの仕分け管理は大丈夫か。

答弁② 清掃センターなどに持ち込まれた、燃えるごみや不燃物ゴミ等で、どちらかの判断の難しいゴミに関しては職員が判断している。また、少量の混載されたごみ

に関しては状況に応じてその場で預かり、まとめてそれぞれの処分場で処理をしている。

質問③ 選定委員会委員は鈴鹿市のスポーツ振興に精通しているのか。選定委員会の答申についてどのように判断しているのか。選定基準に偏りがあるのでは。

答弁③ スポーツの専門家ではないが、事前に施設の見学や説明を行っている。選定委員会より頂いた答申を尊重して判断した。選定委員の皆さんに慎重に審議頂いた結果であり最高得点団体を候補者とした。



新政会 中村 浩 議員



- ① カジュアルデーについてのパート4
- ② 長太海岸堤防の保全についてのパート2

質問① カジュアルデーを採用して10年。提言時の意図は平服で勤務することが市民の立場で行政をするという事であった。カジュアルデーの現状と具体的な経過は。またそれによって職員の意識改革はなされているか。意識改革のために人事評価制度を全職員に導入すべきだと考えるがどうか。

答弁① 自由な雰囲気、自由な発想を期待し、市民に親しみやすい市役所づくりを目指し、市民サービスの充実を図るため導入した。その雰囲気の中、発想されたもの

の積み重ねが、今の職場風土として、築き上げられてきている。人事評価制度は現在、管理職員による試行を行っており、公平・公正な納得性の高い制度の構築を行っていく予定である。

質問② 長太堤防の平成16年度の耐震性調査の結果を受けて市(問題無)と県(問題有)の見解に相違があるが、また市が実施した超音波診断の結果は。

答弁② 県の耐震点検では、地震発生時には多少の変状はあるが、防潮施設の機能はほぼ確保されており、総合的に判断し危険度が低いと答弁した。しかし超音波診断では、部分的に地中レーダーの反射パターンの不規則な部分が見受けられたので、今後の対応を関係部局と協議したい。

平成19年度 議会からの提言

平成19年度、各常任委員会では、第5次鈴鹿市総合計画にうたわれている「市民一人ひとりが夢や生きがいをもって安心して暮らせるまち」の実現に向けて、それぞれの所管事務について調査研究し、その結果を20年度以降の予算や施策に反映されるよう1月15日(火)に市長に申し入れました。【報告の抜粋は以下のとおりです。】



大西議長より川岸市長へ

総務委員会 自主財源の有効活用策について、部局を越えた協力体制により、市全体での有効な活用を図ることや、民間活力の活用の推進など。

文教福祉委員会 救急医療の受入れ態勢維持のための改善施策の早急な実施、学童保育の充実、総合型地域スポーツクラブの設立支援など。

生活産業委員会 C-BUS南部路線の検証をしつつ、その他地域の公共交通の検討をされたい。住民に理解の得られる不燃物リサイクルセンターを目指されたいなど。

建設水道委員会 市営住宅について、将来を見越した効率的なストック形成を図ることや、地籍調査について、公共事業の円滑な遂行となるような地区選定をすることなど。